



男性用トイレ 洗面カウンター

男性用トイレ 大便器

信州大学教育学部附属松本小学校 / 改修

個人の能力を伸ばし、社会にて自立的に生きる基礎を培う、信州大学教育学部の附属小学校

松本市の指定避難所として、校舎の耐震改修に合わせ、災害時に校舎1Fの利用が中心となる高齢者や要支援者を想定した設備を整備。体育館との連絡通路横のトイレには、平常時でも災害時でも使用できる災害配慮トイレ「レジリエンストイレ」を設置。大便器ブース内に使用方法の説明パネルを掲示し、日頃から児童が意識して使えるようになっている。



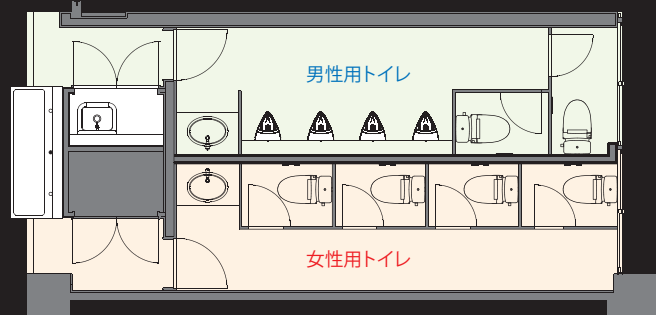
外観全景

DATA

施主：国立大学法人 信州大学
 設計：株式会社エーシーエ設計
 施工：田中設備工業株式会社
 所在地：長野県松本市桐1-3-1
 竣工：2021年3月

商品情報

<一般トイレ>
 レジリエンストイレ : BC-P112SA・DT-PB150CH
 シャワートイレ : CW-PB11M-NE、CW-PB11F-NE
 洗面器 : YL-2295
 自動水栓 : AM-200



平面図

掲載内容及び写真・図版の無断転載はかたくお断りします。(許可なく転載・流用した場合、損害賠償が発生します。)

改修前 女性用トイレ 避難所設備検討者様の声



災害時の水まわりの衛生面・安全面向上を目指した改修を実施。レジリエンストイレは洗浄水量を1Lに切り替えることで、いつものトイレをそのまま使用できる。

災害時に必要不可欠なものひとつに、「トイレ」があります。特に、高齢者や小さな子どもを抱えた方など支援を必要とする人々には、不便さを感じる場面が様々生じます。そこで信州大学教育学部附属松本小学校では、校舎改修の機会を使って、災害時の要支援者の利便性を考慮し、バリアフリー化に加えてレジリエンストイレ、自己水流発電式自動水栓、ユニバーサルベッドなどの設備を、校舎1階に設置しました。災害時の避難所においても、平時に近い形のトイレ環境や衛生状態を維持提供できるレジリエンストイレなどの諸設備は、特に要支援者にとっては安心と健康を保つための安全を提供できる画期的で必要不可欠な設備です。

信州大学教育学部附属松本小学校では、これを契機に児童に防災時の避難所での課題について考え、準備する取り組みをはじめとしています。その際にこれら設備は防災の学びへの導入として、極めて利用価値が高いものです。

一方、避難所を利用する地域住民の方々にも、学校の設備やその利用方法について理解いただく必要があります。災害発生時の避難所開設や運営を念頭に、地域住民の方々には学校にどんな設備がありどう利用できるのか、また住民自身の避難所運営や役割についても、地域の方々とお話しする機会を作りながら学校と地域が共に学び備えることをめざしていきます。

信州大学教育学部 教授 / 廣内 大助 様

女性用トイレ



洗面カウンターにはアクエナジー（水力発電）仕様の自動水栓を設置。停電時でもバックアップ電池と自己発電による吐水が可能で、非接触で吐水・止水ができるため衛生的。児童たちが防災対策を自分事に捉えられるよう、室内には自動水栓とレジリエンストイレの機能や使い方を説明する説明パネルを掲示している。

トイレ入り口まわり 昇降口 防災倉庫



壁一面をわかりやすく色分けした視認性の高い入り口。

昇降口の一部をスロープ化し、1階部分のバリアフリー動線を確保している。

災害に備え、避難生活に必要な物資を保管する防災倉庫を体育館横に設置。携帯トイレ、水、食料を備蓄している。